

# 生徒選んだオススメ本

## 城南中生が手書POP

佐賀市

佐賀市本庄町の積文館書店佐賀南バイパス店に、近くの城南中(末次利隆校長)の生徒たちが手掛けた書籍の推奨コーナーがお目見えした。「手書POP(ポップ)でオススメする城南中学生が選んだ本」と題し、あらすじや面白かったポイントを紹介しており、同世代の来店者への注目を集めている。

### 積文館書店に特設コーナー



生徒たちはイラストなどを添え、あらすじや面白かったポイントを紹介している

推奨コーナーは店の出入り口付近に設置。児童文学やライトノベル、漫画、大河ドラマの原作本など多彩なジャンルの本を、生徒たちが個性的なイラストと思い思いの言葉で表現している。同店の一ノ瀬正孝店長は「足を止めてPOPを読んでいる学生も多い」と好感を示す。

POPは「生徒が本に親しむ機会を増やしたい」と、積文館と城南中が関東地方の実施例をモデルに初めて企画。同校では昨年11月から全校を対象に作品を募り、校内で人気投票も行った。売り場には現在約65点が並んでいる。

ふだん図書館にこない生徒からの応募も。同校図書館の千崎朋子司書は「POP作成で表現力や要点をまとめる力が養われる。今後は授業と連携できれば」と語り、生徒の読書量増加にも期待を寄せる。(大橋諒)



城南中の生徒たちが手掛けた個性的なPOPが目を引く書籍の推奨コーナー  
—佐賀市の積文館書店佐賀南バイパス店